

第6回大川地区学校再編計画地域協議会 会議録

日 時：平成20年3月5日（水）午後7時30分から9時5分

場 所：大川公民館 2階講座室

参加者：委員17名（欠席1名）

事務局：教育総務課長、学校教育課長、担当職員5名

傍聴人：1名

（会議内容）

1 会議の公開・非公開について

公開とする

2 議 題

（1） 報告

①第5回大川地区学校再編計画地域協議会結果の報告

（2） 議事

①第3回さぬき市学校再編計画地域連絡協議会結果について

②大川地区学校再編計画地域協議会の会議結果について

（質疑内容）

（委員） さぬき市の適正な学級規模は25人から40人を基準とするとあるが、これは30人学級を実現するという意味が含まれているのか。

（事務局） 含まれておりません。これは、1学級あたり最低25人は必要であるということですので。

（委員） 1クラスが40人近くになった場合の対応は。

（事務局） このような場合、小学校1年、2年は36人以上になると複数担任制を導入している。また、算数、国語については、少人数授業を実施している。20年度から特別支援教育支援員の配置も実施することとしている。

（委員） 30人を越えたクラスは、複数担任制にすべきではないか。

（事務局） 複数担任制は、現時点では1年、2年生のみです。

（委員） 当初、教育委員会が考えていた案と、このような協議を重ねていくうえで変わった点は何か。

（事務局） これまでの皆さんの意見を基に、今後の教育委員会の審議で決めていきたい。

（委員） 小学校が大川一中の跡地になったとしても、大川一中の統合を先にしないことには建てられないなどの問題がある。富田小の校舎は古いので耐震化もで

きない。早く結論をだしてほしい。

(委員) 前回までの協議結果に①富田小学校に統合する意見が多かった。②富田小の早急な建替えを望む声が多かった。③小学校の自転車通学の検討。④中学校は、山手3町の間ではなく、天王中と長尾中の中間にすべき。
以上の点を修正又は追加してほしい。

(委員) 小学校でも中学校でもバス通学となる子供がいると思うが、基礎体力が心配である。

(委員) この協議会は今回で終わりであるが、今後の教育委員会の決定等はどのようなのか。

(事務局) 4月以降に教育委員会で審議を行い、数回行われると思いますが、計画案を計画にしたいと考えている。
詳細の協議については、別の組織を立ち上げて協議をしたい。

(委員) 富田小のプールが使えないが、今後もB・Gへ行く場合、バス代が保護者の負担になるのか。この議事録に残してほしい。

(事務局) 20年度も市の予算で措置しており、バス代は市で負担します。

(委員) 幼、小教育となると、富田小の敷地では少し狭いのではないかと。
また、小学校高学年の自転車通学は賛成であるが、親がすぐ送迎をするので意識改革が必要。併せて自転車教育をお願いしたい。

(委員) 大川町で住民投票的なものをするのではないかと。

(事務局) 皆さんの意見が地域の意見を反映しているのではないかと考えております。

(委員) 今回の会議録の確認、地域連絡協議会への報告等はどのようになるのか。

(事務局) 取りまとめたものを、会長、副会長に確認していただき、その結果については、皆さんにご報告したい。

(委員) 通学等の細かいことはどのように協議するのか。

(事務局) 今後は、準備検討委員会で細部を決めることとなります。

(委員) 富田小に統合して建替えるより、大川一中に統合したほうが、敷地を有効に使えていいと思う。

(委員) 再編によって通学路が長くなるが、子供の安全面を優先して通学路を決めて

ほしい。

(委員) 大川一中の跡地では、バイパスの交通量が多く心配である。

(委員) 中学校の統合が3校、4校案の結論が簡単にはでないと思う。富田小に統合することとして、プールを先行して整備すべき。

(委員) 学校を建てて財政が破綻した場合、だれが責任をとるのか。跡地の利用はどうするのか明確にしてほしい。

(委員) 今後の協議状況はどのようにして知ることができるのか。

(事務局) 市のホームページ等でお知らせしたい。

(委員) 財政面を考えると、広い中学校の跡地に幼稚園を含めて整備するほうがいい。通学路の件は、バイパスに横断歩道橋を設置すればいいのではないか。

(委員) 松尾小学校は、できるだけ残してほしい。統合は10年後でもいい。富田小学校の古い校舎は早く建替えるべきである。

(会長) 協議会の報告としては、大川一中案にと富田小案の両論併記でお願いしたい。また、小学校の自転車通学に関連して自転車教育の実施をお願いしたい。

以上